

# 神戸大学における評価マネジメントについて

神戸大学 理事(評価担当)・副学長  
中野 常男

平成20年3月6日 研究開発シンポジウム「大学における研究のマネジメントと評価」



# 目次

1. ミッションと沿革

2. 組織構成

3. 評価体制

4. 全学的な評価に関する基本的なスタンス

5. 研究評価に関する各部局における取組

6. 全学的な研究支援制度

7. ミッション・ビジョンの展開

8. 今後の課題

# 1. ミッションと沿革 (1/2)

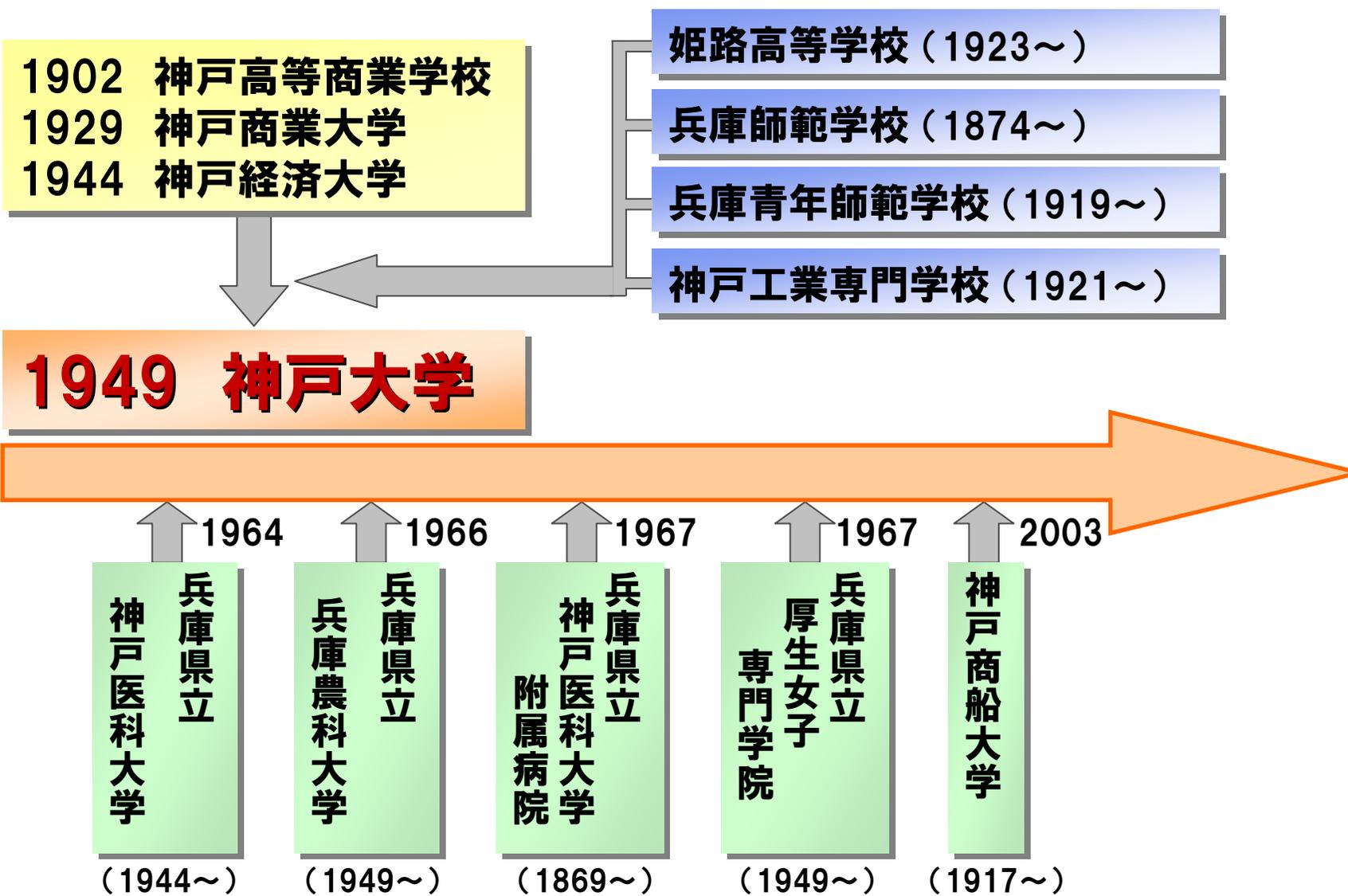
神戸大学のモットー



## < 神戸大学の使命 >

神戸大学は、  
開放的で国際性に富む固有の文化の下、  
「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、  
人類社会に貢献するため、  
普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、  
人間性豊かな指導的人材を育成します。

# 1. ミッションと沿革 (2/2)



## 2. 組織構成 ～学部・研究科等の構成～

### 学部(11)

- \* 文学部
- \* 国際文化学部
- \* 発達科学部
- \* 法学部
- \* 経済学部
- \* 経営学部
- \* 理学部
- \* 医学部
- \* 工学部
- \* 農学部
- \* 海事科学部

### 大学院(12)

- \* 人文学研究科
- \* 国際文化学研究科
- \* 人間発達環境学研究科
- \* 法学研究科
- \* 経済学研究科
- \* 経営学研究科
- \* 理学研究科
- \* 医学系研究科 ※
- \* 工学研究科
- \* 農学研究科
- \* 海事科学研究科
- \* 国際協力研究科

### 専門職(2)

- \* 法学研究科  
実務法律専攻  
(法科大学院)
- \* 経営学研究科  
現代経営学専攻  
(社会人MBA)

\* 大学教育推進機構  
(全学共通教育部)

\* 学術研究推進機構

\* 国際交流推進機構

※ 平成20年4月に「医学系研究科」は「医学研究科」と「保健学研究科」に改組予定



## 2. 組織構成 ～附置研究所・学内共同教育研究施設等の構成～

### 附置研究所

\* 経済経営研究所



### 附属図書館

\* 総合図書館(1)、専門図書館(8)、分室(1)

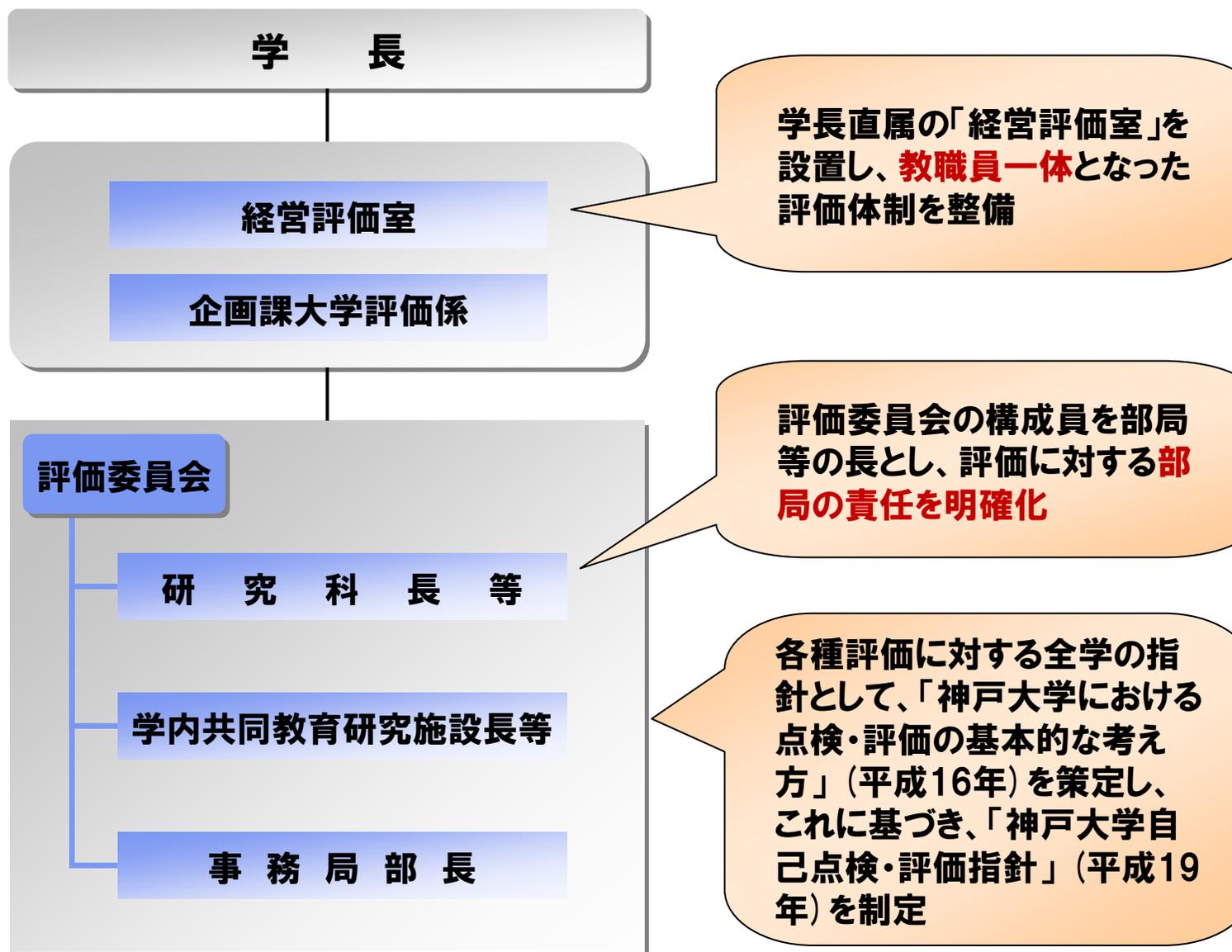


### 研究環・学内共同教育研究施設

\* 自然科学系先端融合研究環  
重点研究部  
バイオシグナル研究センター  
遺伝子実験センター  
分子フォトサイエンス研究センター  
都市安全研究センター  
内海域環境教育研究センター

\* 国際コミュニケーションセンター  
\* 留学生センター  
\* 学術情報基盤センター  
\* 連携創造本部  
\* 研究基盤センター  
\* 環境管理センター

### 3. 評価の体制



## 4. 全学的な評価に関する基本的スタンス（1/3）

平成16年 「神戸大学における点検・評価の基本的な考え方」

### 点検・評価の理念

- 1) 理念・使命に基づいた点検・評価
- 2) **外部の視点**を取り入れた点検・評価
- 3) 証拠に基づいた点検・評価
- 4) 合理的、効率的な点検・評価
- 5) 自らも改善する点検・評価

フレームワークに関する全学的合意形成

自己点検・評価に“外部評価”を含める布石



## 4. 全学的な評価に関する基本的スタンス（2/3）

平成19年 「神戸大学自己点検・評価指針」

### 点検・評価の単位

本学における点検・評価は、以下の単位で実施するものとする。

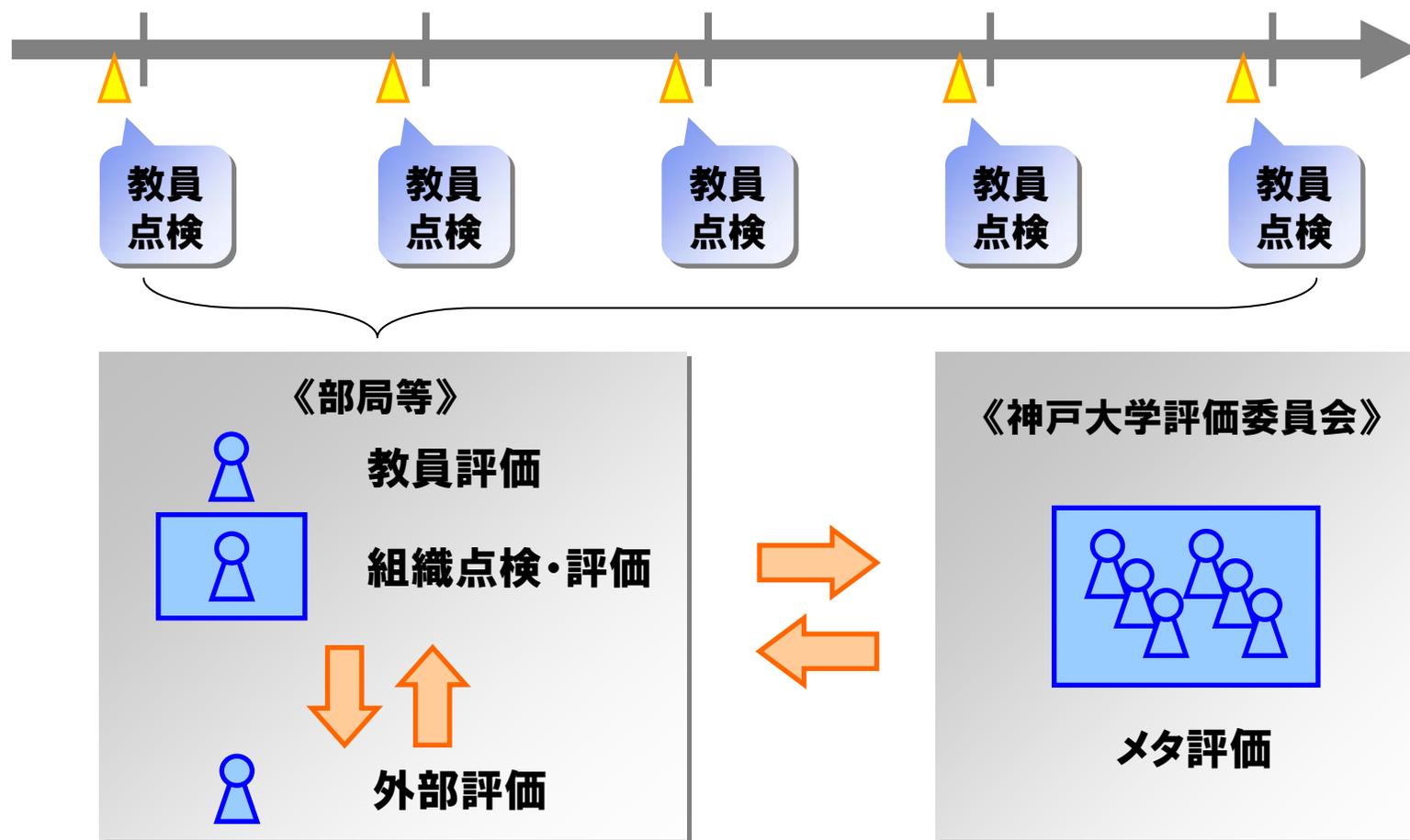
- (1) 各部局等の長（大規模な部局にあつては学科や専攻の長など）による所属教員の教育研究活動等の年次点検（「教員点検」）
- (2) 各部局等の長による所属教員の教育研究活動等の評価（「教員評価」）
- (3) 各部局等の長による「組織点検・評価」
- (4) 神戸大学評価委員会による各部局等の「教員点検・評価」及び「組織点検・評価」に対する点検・評価（「**メタ点検・評価**」）
- (5) 神戸大学評価委員会による大学の総括的 point 点検・評価

※ 教員以外の職員の点検・評価についても、個人及び組織の単位で、各部局等において実施するものとする。

学問分野の多様性に配慮した評価体制の整備



#### 4. 全学的な評価に関する基本的スタンス (3/3)



**部局等の自主性を尊重しつつ、全学的な質を担保**

**学内共同教育研究施設等にも例外なく適用(現在組織点検・評価を実施中)**

## 5. 研究評価に関する各部局における取組 ～評価指針の作成～

**教員評価推進の仕組み**として、部局毎の評価指針を策定

評価項目	細目	件数	特記事項	項目別評価
論文・著書	査読付き論文			
	査読無し論文			
	著書			
	国際会議 Proceedings			
	その他 (紀要、解説、報告等)			
国内研究発表	招待講演			
	一般講演			
	ポスター			
国外研究発表	招待講演			
	一般講演			
	ポスター			
芸術作品・技術作品等	(記入者が細目に分割)			
特許	出願特許数			
	登録特許数			
外部資金	細目	件数	合計金額(千円)	特記事項
	科学研究費補助金(代表分)			
	科学研究費補助金(分担者分)			
公的機関、財団等からの研究助成金等				

部局毎に、「評価指標」と「評価水準」を策定  
ただし、確定したものではなく**適宜変更可能**とする  
策定後、**試行評価**を実施し、**実効性**について検証

評価項目	細目	件数	特記事項(観点に関する記述を含む)	項目別評価
論文・著書	査読付き論文			
	査読無し論文			
	著書			
	国際会議 Proceedings			
	その他 (紀要、解説、報告等)			
国内研究発表	招待講演			
	一般講演			
	ポスター			
国外研究発表	招待講演			
	一般講演			
	ポスター			
芸術作品・技術作品等	(記入者が細目に分割)			
特許	出願特許数			
	登録特許数			
外部資金	細目	件数	合計金額(千円)	特記事項
	科学研究費補助金(代表分)			
	科学研究費補助金(分担者分)			
公的機関、財団等からの研究助成金等				

## 5. 研究評価に関する各部局における取組 ～取組事例①～

### 海事科学研究科の場合

教育研究経費の追加配分に際し、以下の観点をポイント化し、**獲得ポイントに従って傾斜配分**

- ① **教育研究**
  - 担当授業科目数
  - 卒業研究対象者担当数
  - 大学院学生担当数
  - 獲得資金
  - 科研申請状況
- ② **管理運営**
  - 役職
  - 委員会委員
  - 社会交流(高大連携公開授業、オープンキャンパス等)
- ③ **研究科長裁量**
- ④ **論文評価** ————— 邦文・英文の違い、査読の有無等によってポイントに差有り

**職位に関係なく、全教員に対して上記の枠組みに従って実施**

## 5. 研究評価に関する各部局における取組 ～取組事例②～

### 経済経営研究所の場合

#### マネジメントに必要な情報収集

**毎年、研究活動報告書を作成し、全教員の研究活動を網羅的に把握**  
研究業績、学会活動、外部資金獲得、セミナー等の活動情報に加え、  
公開論文のダウンロード回数等の**定量的情報をデータベース化**

#### 研究評価

**有望な研究をプロジェクトとして公募し、部局長裁量経費を原資として  
予算配分を実施**  
評価委員会の意見を参考に**所長が選択**

### 研究所長のリーダーシップの発揮

## 6. 全学的な研究支援制度 (1/4)



## 6. 全学的な研究支援制度 (2/4)

### 若手研究者育成支援

部局が実施する若手研究者育成の取組のうち優れたものを支援

- 若手研究者が自立して活躍できるよう支援する部局の取組に対して資金を配分
- 学術研究推進機構において書面審査により選定 — 事後報告を実施
- 平成17年度 7件 18年度 7件 19年度 7件

### 教育研究環境高度化事業

全学的な研究基盤(設備)を整備するために支援

- 全学的な重要度、緊急度、利用度を踏まえた設備更新カルテに基づき資金を配分
- 研究設備マネジメント委員会において現地調査を行い選定
- 平成17年度 6件 18年度 16件 19年度 12件

### 戦略的・独創的な教育研究プロジェクト

戦略的・独創的な研究で、将来大きく発展することが期待されるものを支援

- 以下のプロジェクトに対して研究資金を配分
  - ・ 先駆的な研究で将来の発展が期待されるプロジェクト
  - ・ 部局横断的な研究に発展が期待されるプロジェクト
  - ・ 独自性の高い(社会性・地域性を活かした)研究プロジェクト
- 学術研究推進機構において書面審査により選定 — 事後評価を実施
- 平成17年度 16プロジェクト 18年度 15プロジェクト 19年度 12プロジェクト

## 6. 全学的な研究支援制度 (3/4)

### 学内発の卓越した研究プロジェクト

**優れた実績を上げている研究**を世界トップクラスに発展させるために支援

- 以下のプロジェクトに対して学長裁量定員枠から教員ポストを配置（研究費・設備等は部局・プロジェクトで措置・獲得することが前提）
  - ・ **研究実績**が学外でも高く評価されているプロジェクト
  - ・ 学術系列を超える**融合領域を創造**するプロジェクト
  - ・ 独自の研究で**諸分野への波及**効果が期待できるプロジェクト
- **役員会・学術研究推進機構**において書面審査→ヒアリング審査により選定——中間評価・事後評価を実施
- 平成18年度 6プロジェクト 19年度 7プロジェクト

### 大型科研プロジェクト

**優れた実績を上げている研究**を世界トップクラスに発展させるために支援

- 学外の評価を経て選定された大型科研プロジェクトに対して学長裁量定員枠から教員ポストを配置
- 平成17年度 2プロジェクト 18年度 2プロジェクト 19年度 3プロジェクト

## 6. 全学的な研究支援制度 (4/4)

### 神戸大学コア研究

**世界トップクラスの研究**が卓越した成果を恒常的に創出できるように支援

- 以下の研究拠点に対して学長裁量定員枠から教員ポストの配置、研究施設・スペースの整備、国際連携活動支援をはじめ全面的に支援
  - ・ 21世紀COEプログラム
    - 平成14年度採択分
      - ・ 蛋白質のシグナル伝達機能
    - 平成15年度採択分
      - ・ 「市場化社会の法動態学」研究教育拠点
      - ・ 新しい日本型経済パラダイムの研究教育拠点
      - ・ 先端ビジネスシステムの研究開発教育拠点
      - ・ 惑星系の起源と進化
      - ・ 安全と共生のための都市空間デザイン戦略
      - ・ 糖尿病をモデルとしたシグナル伝達病拠点
  - ・ グローバルCOEプログラム
    - 平成19年度採択分
      - ・ 統合的膜生物学の国際教育研究拠点
  - ・ その他

## 7. ミッション・ビジョンの展開 (1/2)

### 神戸大学の使命

神戸大学は、  
開放的で国際性に富む固有の文化の下、  
「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、  
人類社会に貢献するため、  
普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、  
人間性豊かな指導的人材を育成します。



### 神戸大学ビジョン2015

*Toward Global Excellence in Research and Education*

神戸大学は、開放的で国際性に富む固有の文化の下、構成員一人ひとりが「真摯・自由・協同」の精神を共有しつつ、更なる飛躍に向けて、2015年までに「グローバル・エクセレンス」の実現を目指します。

#### 世界トップクラスの研究機関に

既存の学術領域、その連携・融合が生み出す新たな学術領域における本学のコア研究により、世界的に卓越した成果を恒常的に創出し、世界トップクラスの評価を得る研究機関になります。

#### 世界トップクラスの教育機関に

本学の教育憲章に則り、卓越した独自の教育プログラムを通じて、高い見識とグローバルな視野を有する人間性豊かな指導的人材を育成し、世界トップクラスの評価を得る教育機関になります。

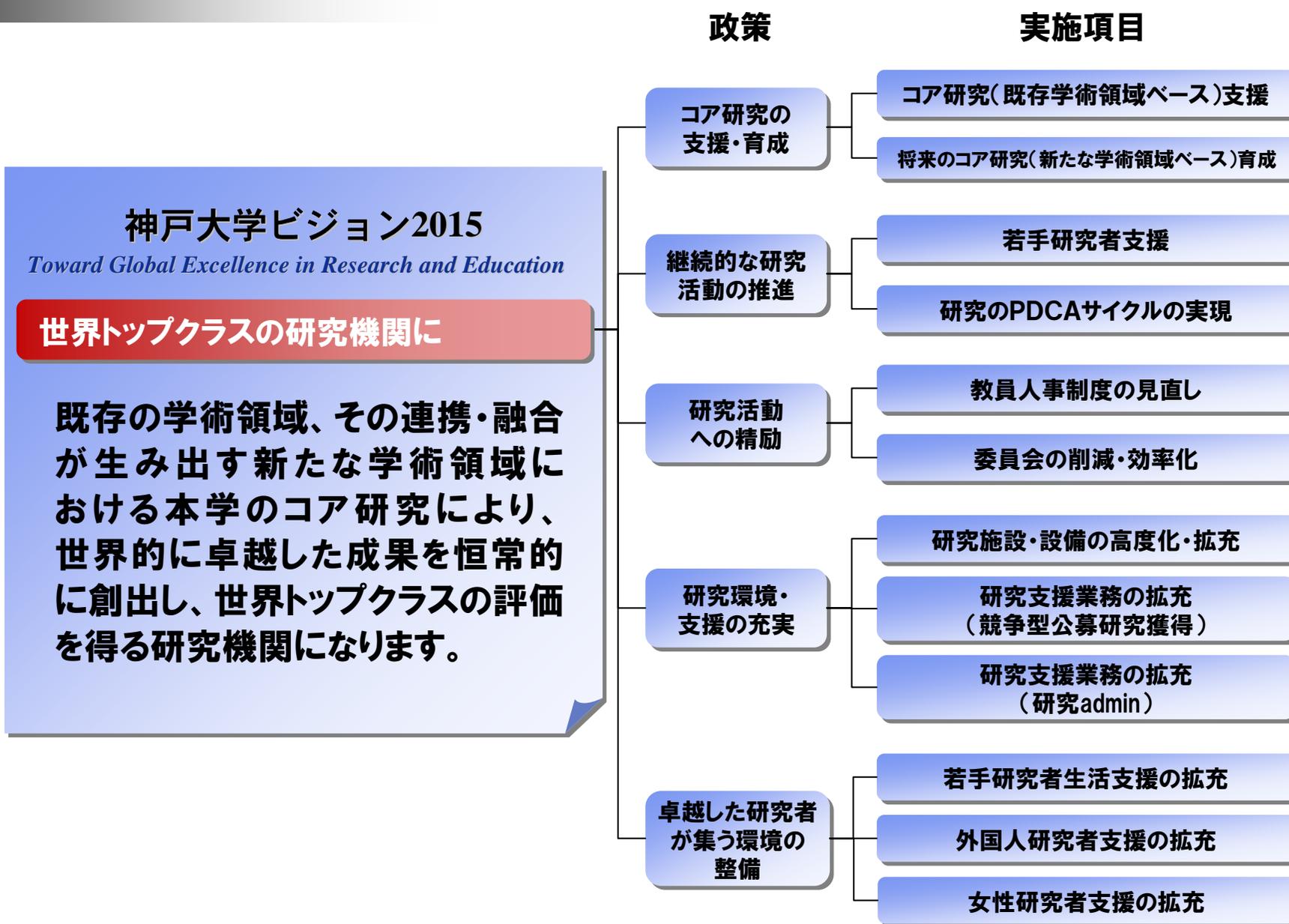
#### 卓越した社会貢献を

世界的に卓越した研究成果の普及、多様なフィールドで活躍する指導的人材の育成、高度先進医療の推進を通じて、世界と地域から高い評価を得る貢献をします。

#### 卓越した大学経営を

ビジョンの達成を通じて、構成員一人ひとりが自己実現を確信するとともに、ステークホルダーからの期待に応える大学経営をします。

## 7. ミッション・ビジョンの展開 (2/2)



## 8. 今後の課題

**メタ評価の実効性の担保**

**メタ評価をどのレベルまで実施するか**

**全学的な評価結果の反映の拡充**

**教員評価のための客観的データの収集**

**法人評価、認証評価に対する作業への対応**